

第3回「災害救援センター(南池袋小)体制整備」の進め方」  
に関する 準備会 記録・議事メモ(公開用)

2023.8.15

雑司が谷・南池袋 町会防災スクラム 準備会

日時:2023年8月9日 15:00-17:00

場所:南池袋小学校体育館

目的:①体育館・防災資器材倉庫の環境・備品確認

②救援センター開設キットとスターターキットを見る

③救援センターの開設と運営について意見交換する

④ミニ備蓄倉庫の備品確認

参加者:10名(15:00-17:00)雑司が谷三丁目町会2名、東目白本部町会3名、光和会3名、南池袋二三四町会2名

5名(14:00-15:00)豊島区民社会福祉協議会2名、ふくろうの杜高齢者総合相談センター2名、南池袋二三四町会防災チーム1名

黄色背景:確認・検討事項、

水色背景:豊島区防災危機管理課に確認事項

公開用文書では割愛した写真も記録用には掲載した

(再掲)1. 段ボール間仕切りは、どこに保管してあるか?ミニ備蓄倉庫には5個程度しかなかったようだ。

2. 段ボール間仕切りを組み立てて、区画を作る訓練をしたいが、何個貸してもらえるか?

3. プラスチックケースの中の町会名は、高田小がある時期の8町会で、4町会分少ないが、追加作成は、町会で行っていいか、区に依頼すべきか?(p.13に写真掲示)

4. プラスチックケースには、鉛筆ひと箱、色鉛筆ひと箱があったが、鉛筆削りはなかった。必要と考えられる文具を町会で記名して、追加してよいのか。報告はする。

5. 宿泊訓練ないし実技訓練をする場合に、区として関われる範囲は、どの部分か?(できれば、配置職員、防災危機管理課職員、要配慮者担当の職員が、折々に見に来てくれるとよいと思う。話題を町会で選定して講和を依頼するのも一案)

6. ホームページに掲載されている備品の保管場所と使い方を確認したい。

資機材名	数量	資機材名	数量	資機材名	数量
給水タンク500リットル	1	ハンマー	3	ジャッキ	1
給水タンク20リットル	20	発電機	2	簡易便器	20
トランジスタ-ラジオ	3	トランジスタ-メガホン	2	投光機	4
コードリール	1	スコップ	3	つるはし	3
燃料タンク	5	なた	3	安全キャンドル	30
炊飯器	1	バール	3	懐中電灯	10
かけや	3				

その他:医療資器材、担架、リヤカー、乳児用オムツ・肌着、成人用オムツ、生理用品、コンロ、やかん、紙コップ、どんぶり、フォーク等

## 1. 体育館の環境・備品確認

災害時に使えるような物をさがし、いずれ、使い方を考える



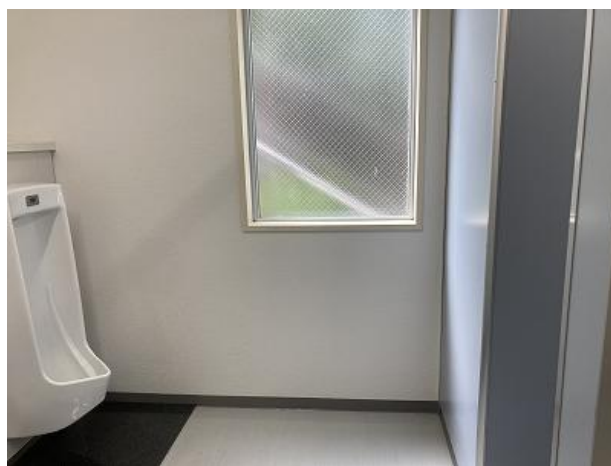
主事室にある鍵と開設キット



主事室の先に台車置き場 左側は職員室、右側は手前から更衣室、バリアフリートイレ、トイレ、エレベータ。この日は、バリアフリートイレは施錠されていました。夏休み、夜間は施錠するそうです。鍵はマスターキー（暗証番号付きキーボックス内）。



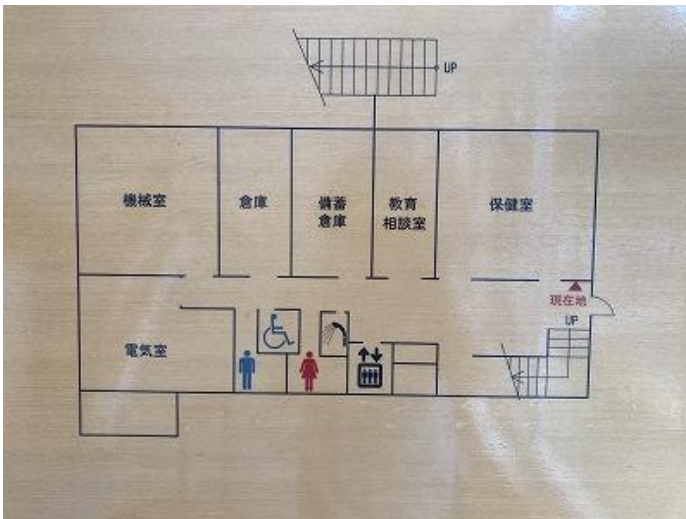
1階 女性用トイレ(職員室前)は洋式個室4



1階 男性用トイレ(職員室前)は洋式個室1



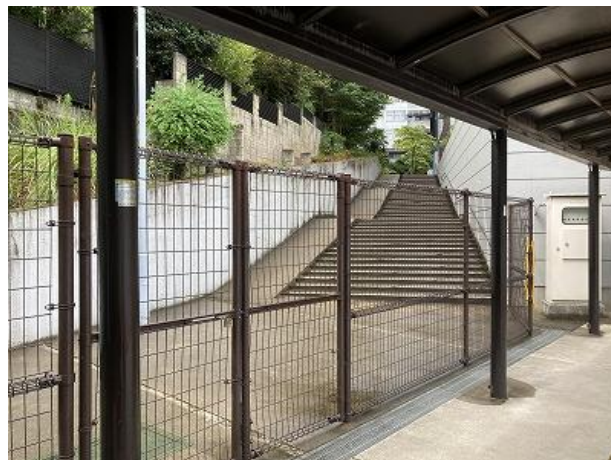
地下一階女性用トイレ個室1、男性用トイレも個室1



エレベータ隣はシャワー室。倉庫には、何か使わせていただけるものはあるか？



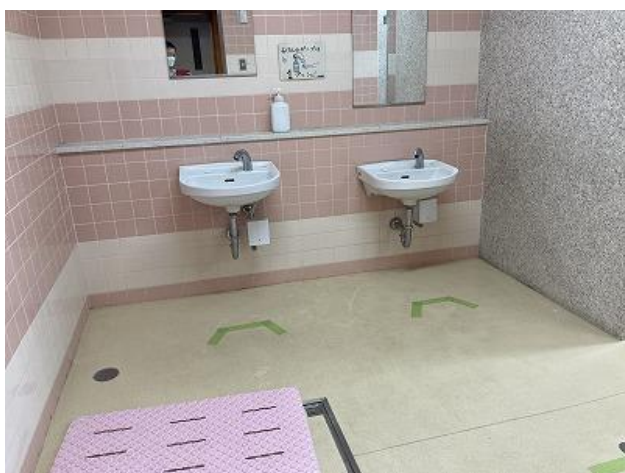
地下一階には AED と消火器もあります。体育館周辺の消火設備は要確認。



校舎から続く体育館入口。校舎右からの通路(スロープと緩やかな傾斜)の間には鍵がある(これもマスターキーで開くのか?)



体育館に入って左面左端に、学童保育(1, 2階)につながる出入り口。突き当りの倉庫に机といすが入っているが、この日は施錠。これもマスターキーだそうです。要確認。



体育館女性トイレ個室 3 個とサンダル



体育館の奥、スキップの入り口近くに空調のスイッチ。ホワイトボード4枚。



体育館突き当りの扉の外、左側に防災資機材格納庫。



扉を開けると夏草が繁茂。町会で草取りしてもいいかも。しっかりした上履きが必要。

二階からの非常階段の下のドアは施錠なし。突き当りは区民広場に面して、**鍵アリ(マスターキーで開くか要確認)**。



出口近くには消火器2本。体育館を出て右にいくと雨水槽2個。第四育成の倉庫。



出入り口近くにも、倉庫 2 基。



(左)資機材倉庫を開けたところ。左端は担架3個、奥の棚に、担架の肩紐、ソーラーランタン2個、ゴム軍手15個。最初に持ち出すプラスチックケース。棚の下には、しゃべる5, つるはし5、ホース。





資機材倉庫の奥。リヤカー、発電機2個、水色はタンク。左には、オムツ、乳児下着。救援センター看板。  
バケツなど奥に何があり、いつ、どう使うかは要検討。

ミニ備蓄倉庫を見学



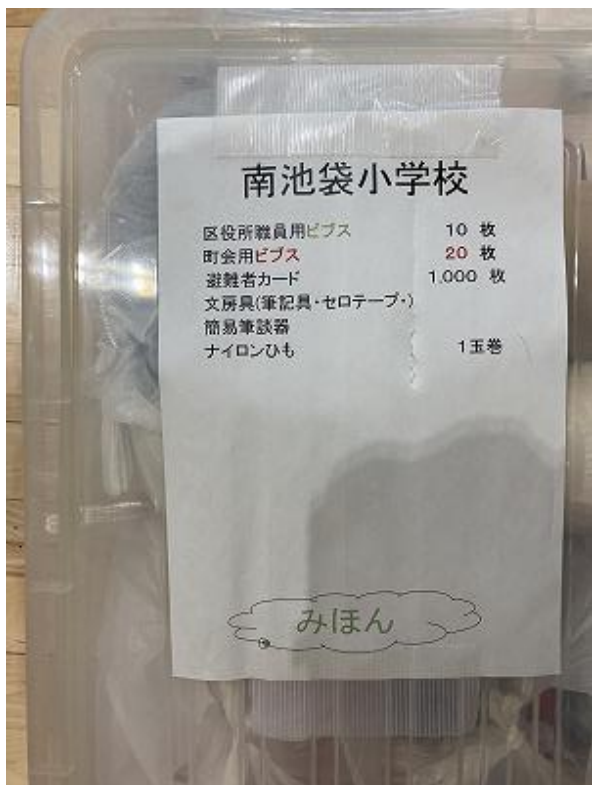
毛布 平成24年9月・2012年×9箱	毛布 平成9年・平成24年・2012年×9箱	毛布 平成24年×10箱
毛布 2012年4月×7箱	毛布 平成9年2月×3箱 2012年4月×1箱 2023年5月×2箱	特設電話 マスク その他
毛布 2023年5月×9箱	毛布 平成9年2月×4箱 平成23年5月×2箱 2012年4月×4箱	感染対策一式
毛布 平成9年2月×4箱	毛布 平成9年2月×3箱 2012年4月×1箱	
奥	ダンボール間仕切	
	手前	

・特設電話の接続場所、机、いすなどの確認

・感染対策物品・食事は、初日用を分けておくと良い

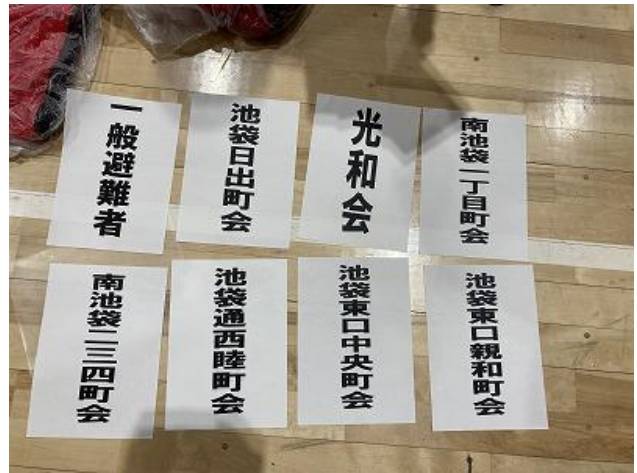
・段ボール間仕切りは、最初に使いたいが、他には、どこにあるのか？ 段ボール間仕切りで体育館開設の訓練をしたいが、間仕切りは何個、使えるか？

## 2. 開設キットとプラスチックケースの内容を見る



プラスチックケース(区職員ビブス 10、町会用ビブス 20、避難者カード 1500、簡易筆談機、ナイロン紐1巻、ガムテープ1、文具(鉛筆、色鉛筆、ボールペン、セロテープ):鉛筆削りはない  
町会名を書いたA4用紙2セット(高田小があったときの町会配置)





池袋東口中央町会は消滅。高田小の閉校に伴い、雑司ヶ谷一丁目町会、雑司ヶ谷一丁目東部町会、雑司が谷三丁目町会、東目白本町会、青葉会が、南池袋小を指定避難所になった。**町会用紙の更新を防災スクラムで行うか、区役所で行うか要確認。**

### 3. 救援センター開設・運営について心配なこと・思うことについて自由に意見交換

15:30-16:15

最後に、一人ずつ、今日の感想を発表。





裏に校門の鍵の暗証番号を書いたカードを持っている近隣役職者がいる。児童委員、育成委員など。

#### ① 具体的な救援センター開設運営の訓練

- ・ 防災訓練や助成金の規定によると、町会は地域防災組織として機能することになっており、主体的に動かないといけない。
- ・ 旧高田小の時のようなセレモニー的な訓練でなく、リアルな災害時の訓練をしたい(受付、体育館の配置など)。
- ・ リアルに、何が起こるのか、ぴんと来ないので、具体的な訓練をしたい。
- ・ 具体的な訓練が必要。
- ・ 夏休みに、宿泊訓練をしたらどうか？
- ・ おやじの会が、体育館での宿泊をしていたことがある。
- ・ 課題は多いので、ひとつずつ解決していけたらいいと思う。
- ・ 具体的な訓練をするには、組織がしっかりしている必要がある。担当が変わっても引き継げることなど。
- ・ 婦人部では炊き出しに貢献できるが、危機管理という意識は持っていなかった。カレーと豚汁は万全。個人で炊飯器を5個持っている。

- ・ 育成会も煮炊きの道具など倉庫にいられている。協力したい。
- ・ 昼間の地震発生の場合の引き渡し訓練では、帰りは音大側からとなっている。
- ・ 311では、児童は防災頭巾をかぶらずに帰宅した。何のために学校に防災頭巾を持っているのか、災害時の行動は準備していないと適正に行えない。
- ・ 避難所内外の防犯も課題(治安、窃盗)、顔の見える関係で。

## ②各町会での地域防災活動

- ・ 都の助成金により、スタンドパイプに複数の蛇口をつける機材を申請した町会がある。



(イメージ図)

- ・ 各町会の工夫を共有することも有効。
- ・ 災害時のことについて、びっくりするくらい知らなかったことに気づいた。災害時には、避難所に物資を取りに来ればいいのかと思っていた。
- ・ 数を重ねることが大事と思う。

## ③その他

- ・ 火事の心配
- ・ 小学校の開設準備ができるまで区民ひろば南池袋を使えないか(8:30-22:00 は誰かしらいるはず)

・在宅避難者に物資・情報を配布する方法も要検討。例えば、避難所内の掲示内容のうち在宅避難者にも有効な内容を、町会の掲示板に再掲示する。ネットができれば、南池袋二三四町会 HP の電子掲示板機能を使う。



三二備蓄倉庫 保管物品一覧

物 品 名	備 考	数 量	チェック
クラッカー		1,540食	<input type="checkbox"/>
ビスケット			<input type="checkbox"/>
アルファ化米(五 目)		1,500 食	<input type="checkbox"/>
アルファ化米(そばろ)			<input type="checkbox"/>
アルファ化米(わかめ)	アレルギー除去食品		<input type="checkbox"/>
アルファ化米(ひじき)			<input type="checkbox"/>
アルファ化米(きのこ)			<input type="checkbox"/>
飲料水	1本2リットル入り (1箱6本×84箱)	504本	<input type="checkbox"/>
毛布	おおむね 1箱10枚×100箱	1,000枚	<input type="checkbox"/>
カーペット(マット)	おおむね 1箱50枚×20箱	1,000枚	<input type="checkbox"/>
簡易便器		25組	<input type="checkbox"/>
粉ミルク	850g入り	4缶	<input type="checkbox"/>
粉ミルク	アレルギー除去 850g入り	1缶	<input type="checkbox"/>

※ 数量は、1ヶ所あたりの標準です。場所により、この数量以上備蓄しています。

一回目の食事はクラッカーとするのが一般的。一人 500ml ボトルを最初に配布すると、アルファ化米に使うには十分ではなさそう。倉庫の手前にあったペットボトルは 500ml であった。

以上